



寺島副代表が県議会議長に 2月定例県議会・新年度予算案など可決

2月17日に開会した定例県議会は3月12日に議案の採決を行い、総額8,615億円の2010年度一般会計当初予算案など県側提出の計70件の議案を原案どおり可決しました。
本定例会では正副議長選挙が行われ、寺島義幸議員(会派副代表)が全会一致で議長に選出されました。なお、各委員会等の議事人事は別表のとおり決まりました。

Q 2月定例県議会では、竹内久幸議員(会派幹事長)が代表質問を行いました。
Q 国の地方財政計画についてはどうか?
A 地方交付税の1.1兆円の増額など地方財政への配慮は評価できる。

Q 直轄事業負担金の維持管理分の廃止についてはどうか?
A 制度の廃止に向けて大きく前進したと評価する。

Q 新政権の予算案や半年間の取り組みの評価は?
A 税収が非常に厳しい中、歳入の確保に苦慮しながら予算案を編成したり、現に積極的に対応しており評価する。

Q 国と地方の新たな関係に軸足を置きつつ、中期総合計画の着実な推進を基本とした。基金の取り崩しは最小限にとどめ、通常債の残高も減らすよう努力した。
Q 県税収入の見込みはどうか?
A 今年度当初予算に比べ、14・6%減の1,801億円と見込んだ。厳しい雇用情勢や円高など懸念要素があり、非常に厳しい税収になると認識している。

地方主権にふさわしい 県民に分かりやすい議会を

2月定例県議会において2009年度の議長・副議長が辞職しました。これに伴い次年度議長・副議長選挙が3月15日の本会議で行われました。



議長席に初登壇の寺島議員

改革・緑新より立候補した寺島議員(佐久市・北佐久郡5期目)が第84代議長に選出され即日就任しました。
立候補に当たった所の信表明は「経済・雇用・財政における現下の厳しい状況を乗り越えるために県議会の役割は一段と大きい。そのために県議会基本条例を踏まえ、常に改革意識を持って、公正公平な立場で民主的議会運営に努める。また、地方分権の進展に合わせ二元代表制にふさわし

係構築に向け期待することとは何か?
A 日頃「市町村が主役」と申し上げており、地域主権戦略会議などの取り組みを評価し期待している。特に地方税財源の充実を強く望みたい。
Q 高校授業料の無償化等についてどのように評価しているか?
A 家庭の経済的負担の軽減を図り、教育の機会均等に寄与するものと考えている。

Q 新年度予算ではどの程度の経済波及効果と雇用創出を見込んでいるか?
A 県内での生産誘発額は4,400億円、経済波及効果は1・63倍と試算し、雇用誘発数は年間38,600人程度と見込んでいる。

Q 今後の本県経済の見通しはどうか?
A 生産は持ち直しているが、有効求人倍率は依然として低水準で厳しい状況が続いている。国の新年度予算による一層の経済効果を期待している。



代表質問に立つ竹内議員

Q 中期総合計画の進捗状況や課題、今後の対応について伺う。
A 県民生活に直接関わる福祉・医療の確保、森林整備、減災対策などは着実に成果が上がっている。一方、産業や経済に関する達成目標については、世界経済悪化の影響もあり容易ならざる面もあると認識している。足元の対策とともに将来を見据えた取り組みと両方の対応が必要と考えている。

「連合松本」と意見交換会

2月2日、松本市で、連合長野松本広域協議会の皆さんと「県政意見交換会」を行いました。地元の道路問題を中心に、雇用創出対策について、中央本線について、松本空港活性化について、公共交通対策など18項目について意見交換を行いました。特に、道路問題については、国道19号の進捗状況や南松本駅「宮田前踏切」島内「青島踏切」など、生活に密着した混雑状況の緩和策についての改善要望が出されています。



懇談会の席上、「ジョブカフェ信州」の充実への提案もあり、翌3日に松本駅前の「ジョブカフェ信州」を視察し、併せて充実策の提言を行っています。

2010年度担当委員会 (副委員長)		
総務企画警察	倉田竜彦	森田恒雄
健康福祉	竹内久幸	
環境商工観光	小島康晴	○高島陽子
農政林務	下村 恭	
危機管理建設	松山孝志	○下沢順一郎
文教企業	野澤徹司	
議会運営	竹内久幸	野澤徹司
決算特別(内定)	森田恒雄	小島康晴
公共交通対策	竹内久幸	○小島康晴
監査委員	下村 恭	

小島康晴の 県政レポート

VOL.12

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388



「相手の立場・逆の立場でも
考えよう」と一般質問

2月県議会

県土の均衡ある発展へ 中期総合計画推進の中で配慮を

一般質問

長野県地図を逆さにして2つ並べてみると、飯田は「南の端」といわれませんが、長野も同様に「北の端」です。「北高南低」と言われて久しいですが、これを一日も早く「死語」にしたいという思いで理事者の取組を質しました。なお、今回は飯田から40人の皆さんに傍聴にかけつけていただきました。

県土の均衡ある 発展について

【小島議員】「中期総合計画」の施策の推進にあたって、県土の均衡ある発展のための配慮がなされているか伺いたい。

道路の改良率の 格差の改善

【小島議員】以前指摘した県内の国道・県道の改良率はその後どうなっているか？

【建設部長】この2年間で県平均と飯田地域の差は1.3%縮小した(別

【別表1】道路の改良率

	長野県	飯田地域	県全体との差
平成18年4月1日	75.7%	63.1%	12.6%
平成20年4月1日	76.7%	65.4%	11.3%
伸び率	1.0%	2.3%	1.3%

表1)。引き続き中期総合計画に基づき取り組んでいく。

福祉・介護施設の 整備

【小島議員】特養などの施設の整備についてはどうか？

【社会部長】特養の入所希望者の割合(別表2)、要介護認定者に対する施設定員数(施設の整備率(別表3))などを踏まえ、整備率の低い圏域の底上げを図り、地域ごとのバランスを配慮して進めたい。

観光施策について

【小島議員】観光施策について地域間のバランスや、JR各社との対応はどうか？

【観光部長】広い県土を意識して、県内を周遊してもらえよう取り組んでいる。同時に意欲のある地域を重点的に応援もする。JR東海とも連携して中京圏を意識した様々な取組を行っている。

会議等の 開催場所の配慮

【小島議員】会議や研修会の開催場所への配慮は行われているか？

【総務部長】長野や松本での一括開催だけでなく、出席者の移動時間や旅費を考慮し、複数会場での

【別表2】特養入所希望者の比率(21年3月末)

県全体	最も高い圏域	最も低い圏域	飯伊
0.9%	1.8%	0.3%	0.7%

【別表3】特養施設の整備率(21年3月末)

県全体	最も高い圏域	最も低い圏域	飯伊
12.6%	16.2%	10.9%	14.2%

知事の基本的な考え

【小島議員】この他にも、文化・スポーツ施設等不満足は多い。各地域の均衡ある発展について知事の基本的な考えは？

【村井知事】広い県土にあって各地域の発展に遅速があるのはやむを得ないが、地域の特性を踏まえて施策を展開し、地域の力を高めていく、これが県全体の発展にもつながる、と考え取り組んでいる。

三遠南信道の推進

【小島議員】わが地域の発展にとって三遠南信道の整備は欠かせない。予算確保への知事の取り組みに感謝するが、今後の見通しはどうか？

【村井知事】概算要求段階での大幅削減案に危機感を覚え、国交大臣などに地域の思いを強く訴えた。23年度以降も必要なら

予算が確保されるよう国に要望したい。

県としての 交通政策の拡充

【小島議員】地域公共交通の維持は小さな市町村には荷が重く、もっと県が前面に出るべきではないか？

【企画部長】住民に当事者意識を持ってもらうためにも「市町村中心」で取り組んでいただき、県は引き続き必要な支援を行っていく。

【小島議員】現在の県の交通ビジョンは10年前のものであり、新たに策定し直すべきではないか？

【企画部長】現在も取り組んでいる個々の課題について、将来を見据えた幅広い視点から、いろいろな取り組みをすることが近道と考える。

県民起点でたて わり行政の改革を

【小島議員】部局を横断するような課題については、きちんとした責任体制をつくり、たてわり行政の弊害を少なくし、県民にもわかりやすく取り組むべきではないか？

【総務部長】部局横断的な課題については、必ずとりまとめ担当を明確にしている。特に重要な課題については、副知事をキャップとする企画調整委員会を調整している。

【小島議員】県民生活に直接関わるような課題は、身近な市町村に任せることによって、たてわりの弊害も少なくなるのでは

残り1年を全力で

早いもので、ただいた任期のうち3年間が過ぎました。

21年度は、「農政林務委員会」および「公共交通対策特別委員会」の副委員長を担当しながら、県議会本会議での毎回の一般質問をはじめ、会派や議員連盟等の現地調査等に積極的に取り組んでまいりました。

また、私も参画しました「議会基本条例制定調査会」の取組が実現し、「長野県議会基本条例」を9月議会で可決・成立させることができました。「地方主権」が標榜される中で、県

議会の基本を定めた意義は大きいと考えています。

22年度は「環境商工観光委員会」に所属し、引き続き「公共交通対策特別委員会」の副委員長を担当します。また、「決算特別委員会」も担当します。しっかりと予算の執行状況をチェックしたいと思っています。

まだまだ不十分と思うことばかりですが、いよいよ任期も残すところ約1年となりました。よりよい長野県政となりますよう全力で取り組んで参ります。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

高校図書館の 司書について

【小島議員】図書館は高校生の居場所の一つであり、行政の都合で正規職員を嘱託職員に置き換えていくのはいかがなものか？

【教育委員長】司書資格を有する行政嘱託職員が継続的に勤務することで、図書館教育の充実に寄与し、生徒との良好な関係が築けると考えている。関係者の理解を得ながら進めたい。



最後の農政林務委員会・副委員長席にて

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・緑新

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP://www.kaikaku-ryokushin.com
E-mail:kaikaku-ryokushin@grace.ocn.ne.jp